

# 肝炎ウイルス陽性患者の受診勧奨 運用フロー

①以下の検査結果が陽性(+)の場合には電カルのアラートシステムで表示されます

HCV抗体、HCVコア蛋白、HCV-RNA定量

HBs抗原、HBs抗体、HBs抗原(精密)、HBs抗体(精密)、HBc抗体(精密)、HBV-DNA定量

52歳1ヶ月 A型 Rh(+)

155.0cm 45.400kg

C型 勸奨 B型 勸奨

(こちら)

C型 勸奨 B型 勸奨

②下記文書を出力

文書作成(共通)  
：院内共通→内科受診勧奨

- この文書を一度印刷すると、ウイルス検査を再度行って結果が陽性であってもアラートのアイコンが表示されません

c00 両立支援についての主治医意見書(就業継続)  
c00 両立支援についての主治医意見書(職場復帰)  
RI検査依頼書類 県立中央病院  
RI検査依頼書類 甲府脳神経外科病院  
RI検査依頼書類 市立甲府病院  
RI検査同意書  
がんゲノム医療説明書・同意書  
内科受診勧奨  
B型肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め  
C型肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め  
輸血  
看護指導・説明書

印刷して終了

or 保存して終了

⇒ 診察終了

患者用

B型肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め  
(患者様用)

B型肝炎ウイルス検査結果ご説明後の対応確認票  
(担当医様用)

内科外来へ提出

③結果に基づき、検査陽性であることや肝精査を勧めることを説明

## <B型肝炎例>

### 患者への交付用

(結果を説明し適切な肝炎治療を促す)

### B型肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め (患者様用)

報告日令和元年 09 月 06 日

患者氏名 テスト 太郎 様

あなたは今回、B型肝炎ウイルス検査結果が陽性であると判明しました。  
詳しい肝炎ウイルス検査や画像検査により現在のあなたの肝臓の状態を確認し、治療介入の必要性について肝臓専門医と相談されることをお勧めします。

#### <B型肝炎ウイルス(HBV)検査結果>

HBs 抗原 -

HBs 抗体 +

HBs 抗原(精密)

HBs 抗体(精密)

HBc 抗体(精密) 1.00

HBV-DNA 定量

B型肝炎ウイルスの感染には急性肝炎、慢性肝炎、非活動性キャリア、肝硬変、肝臓、既往感染など様々な病態があり、状態によっては定期的な検査や治療が必要になる場合があります。

既に B 型肝炎に関して適切な診療を受けている場合は通院を継続し、まだ受診をしていない場合には担当医と相談の上、専門医への受診をご検討ください。

結果説明 診療科 一内科 担当医 テスト 医師 001

0000000055 テスト 太郎 様用

第一内科外来へ提出  
(該当項目に☑し、内科外来へ提出してください)

B型肝炎ウイルス検査結果ご説明後の対応確認票  
(担当医各位)

下記の確認事項をご記入の上、第一内科の外来へ確認票をお送りください。

0000000055 テスト 太郎 様

結果説明 診療科 一内科 担当医 テスト 医師001

HBs 抗原 -  
HBs 抗体 +  
HBs 抗原(精密)  
HBs 抗体(精密)  
HBc 抗体(精密) 1.00  
HBV-DNA 定量

HBs 抗体または HBc 抗体が陽性の場合、通常は既往感染を示唆する所見ですが、ステロイドを含む免疫抑制療法や化学療法を導入する場合には B 型肝炎ウイルスの再活性化の可能性を考慮して定期的なフォローアップが必要となるためその場合は患者様に受診をお勧めください。

今回の B 型肝炎ウイルス検査結果を受け、下記のように対応いたします。

□ 当院第一内科(消化器内科)を受診します。

↓

他科依頼で平日(月～金)の 8:30～10:30 に第一内科へ受診させていただきます。

□ 他の医療機関(肝臓専門医) 医療機関名: において  
二次検査を受けます。

↓

B 型肝炎ウイルス検査結果による精査のお勧め(患者様用)を持参の上、  
肝臓専門医のいる適切な医療機関を受診するよう指示してください。

□ 既に肝臓専門医 当院・他院(医療機関名: )において  
精密検査を受けており、引き続きフォローを受ける予定です。

↓

現在の診療を継続するよう患者様に指示してください。

確認日 令和 年 月 日

確認医師 (自署):

日付  
と  
サイン

必ず  
☑  
を  
お  
願  
い  
し  
ま  
す





肝機能の数値が正常でも、  
突然がんになることが。



健診の肝機能の数値が正常で安心している方が、知らないうちに肝がんになっていることがあります。B型肝炎ウイルスは感染から数十年も眠っているように見せかけて、突然がんを引き起こす、油断のならないウイルスです。



専門の医療機関で、  
肝臓を精密にみることができます。



肝臓相談窓口で、肝臓の検査ができる医療機関をご案内します。「B型肝炎ウイルスの精密検査を受けたい」とお伝えの上ご予約ください。検査は20分ほどで終わります。

山梨県の肝臓相談窓口  
月～金(祝日・年末年始を除く) 09:03～16:00

055-273-1111

半年に一度  のエコー検査が、命を守ります。



肝臓の内側をみれば、  
肝がんの早期発見につながります。



肝がんの初期は自覚症状がなく、肝機能の数値に異常が出ないことがほとんどです。エコー検査で肝臓の内側をみることで早期発見の鍵です。



助成金が出ます。

検査費用、抗ウイルス薬費用のどちらにも、助成制度があります。

助成金の詳しい内容は、こちらの電話にお問い合わせください。

055-223-1494

山梨県福祉保健部健康増進課



# 肝炎ウイルス Q&A

よくあるご質問にお答えします。

## ■ 肝がんになるとどうなりますか？

治療しても再発することが多く、入院を繰り返して通常の生活が難しくなります。

## ■ どんな治療法があるのですか？

最近では1日1～2回服用する飲み薬のみで治療することが主流になりました。従来のインターフェロンはほとんど使われなくなりました。

## ■ 薬の効果はどれくらいですか？

初めて治療する人の場合は、95%以上の人の身体からC型肝炎ウイルスが消えます。

## ■ 治療費はどれくらいですか？

治療費助成制度があるため、自己負担額はひと月あたり10,000円または20,000円です。  
(世帯全員の市町村民税(所得割)課税年額によります)

## ■ 仕事や日常生活に影響しませんか？

入院して仕事を休んだり、日常生活に影響するようなことはほとんどありません。また、治療中は禁酒すること以外、とくに生活を变える必要はありません。

\*病状によっては入院を勧められる場合もあります。

## ■ どの病院へ行けばいいですか？

かかりつけ医から提案します。以下から探すこともできます。▶ <http://www.aabbbbcccc.jp>

## ■ 副作用はありませんか？

副作用はほとんどありません。今まで副作用を心配していたためらっていた方も、安心して治療を受けられます。

## ■ 高齢でも治療できますか？

身体への負担が少ない薬があります。ご高齢でも、肝機能の数値が正常でも、必要と判断されれば、治療をお勧めします。

## ■ 治療期間は？

2ヵ月または3ヵ月です。  
薬や病状によって異なります。

## ■ 通院の頻度は？

飲み薬の服用中は、原則として2週に1回通院し、必要に応じて採血などを行いません。



山梨県の肝臓相談窓口にお電話を 月～金 10:00～16:00 (祝祭日・年末年始を除く)

# 055-273-1111

山梨大学  
医学部附属病院  
肝疾患センター

山梨県 福祉保健部 健康増進課 感染症担当 TEL: 055-223-1494 FAX: 055-223-1499

山梨県

# 今こそ、たたけ！ 肝炎ウイルス



(画像はイメージです)

入院しないで肝炎ウイルスをたたき飲み薬も、できました。

## C型肝炎ウイルスを放置しておくと、 肝がんに進む可能性があります。

肝機能の数値が基準内でも、肝がんに進んでいることがあります。

山梨県の肝臓相談窓口にお電話を 月～金 10:00～16:00 (祝祭日・年末年始を除く)

# 055-273-1111

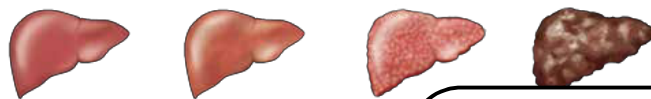
山梨大学  
医学部附属病院  
肝疾患センター

# C型肝炎ウイルスを2～3ヵ月でたたく飲み薬もできました。

## 肝機能の数値が基準内でも、 肝炎が進行してるかもしれません。

肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、肝炎が進行していても自覚症状がないことが珍しくありません。また、高齢になると病状の進行が早くなります。

肝炎ウイルスから  
発症する病気



正常 → 慢性肝炎 → 肝がん  
場合によっては、慢性肝炎から突然肝がんを

## まず、精密検査で 肝臓の現在の状態を調べましょう。



■ ウイルス量検査 (採血自体は1～2分)  
血液中の肝炎ウイルス量や型を調べます。

■ 超音波検査 (検査時間: 約20分)  
超音波で肝臓の状態を調べます。



※保険診療が助成対象なので、次の通り変更をお願いします。

治療費用(2ヶ月)  
約10～20万円 ⇒ 県の助成利用で2万円に！

## 放置して肝がんに進むと、再発の 入退院を繰り返すことになります。

肝がんは完治が難しいがんです。早期に発見して治療して何年か生存しますが、再発の危険があります。(他の多くのがんは、治療後5年再発しなければ、完治とみなされます)

## 普通の生活をしながら、 肝炎ウイルスをたたけます。

近年は飲み薬だけでC型肝炎ウイルスを消せるようになりました。入院の必要もないため、仕事を休むことなく治療できます。ご高齢の方でも安心して治療が可能です。  
\* 病状によっては、入院して治療を受けることがあります。



効果は  
95%以上  
(初めて治療  
する方)

## ■ 服用期間は2ヵ月\*。副作用はほとんどありません。

服用中は禁酒すること以外、とくに生活を変える必要はありません。身体への負担はほとんどありません。\* 病状によっては、服用期間が3ヵ月の場合もあります。

治療費用(2ヵ月)

500万円

⇒ 助成利用で2万円に！

## ■ 今なら、助成制度が利用できます。

抗ウイルス薬の治療費用にも、ウイルス排除後の検査費用にも。

治療費用助成

自己負担額 1～2万円/月\*

定期検査費用助成

自己負担額 2～3,000円/年2回\*

\* 世帯全員の市民税(所得割)課税年額、また病状によります。  
助成をうけるためには、都道府県が指定した医師の診断書が必要です。





## 注意

- ① このパスポートは、「山梨県C型肝炎治療終了者サポート事業」における肝臓硬度測定検査・脂肪肝蓄積量測定検査を受けるために必要となるものです。
- ② このパスポートは、本人のみ有効です。
- ③ 山梨大学医学部附属病院肝疾患センターに電話で予約を取り、このパスポートと保険証を持って、予約日に受検してください。
- ④ 受検日にこのパスポートを忘れると、予約日当日に受検できない場合があります。
- ⑤ このパスポートを紛失された場合は、次の連絡先までご連絡ください。  
○ 山梨県福祉保健部健康増進課 感染症担当 055-223-1494
- ⑥ このパスポートは、平成34年3月31日まで有効です。なお、事業が継続する場合は、その後もパスポートは使い続けることができます。

## サポート事業の3ステップ

### STEP1 検査を電話で予約

電話予約

山梨大学医学部附属病院 肝疾患センター  
055-273-9584  
(平日10時～16時)

### STEP2 予約した日に受検

持ち物

- ①パスポート
- ②健康保険証

忘れた場合は受検できない場合があります。

窓口

7番窓口

### STEP3 検査結果に応じたサポートを受ける

- ①結果に基づき保健所から連絡があります。
- ②ご自身の結果に応じ、適切な食事・運動を心がけましょう。
- ③検査結果に応じ6か月後、1年後又は2年後に検査を受けてください。
- ④必要に応じ、定期検査や医療機関の受診をお願いします。

STEP1に戻る

## やまなし 健康パスポート



C型肝炎治療終了者サポート事業  
(肝硬度測定検査・脂肪肝蓄積量検査)

有効期限 平成34年3月31日

このパスポートはご自身で  
大切に保管してください

発行者 山梨県





C型肝炎治療終了者サポート事業  
(肝硬度測定検査・脂肪肝蓄積量検査)

# 本人情報・検査結果記録

※ この欄には何も書き加えないでください↓

氏名	
性別	
居住 市町村	
生年月日	
発行日	
発行番号	

No.	受検日	検査番号	検査結果		備考
			肝硬度	脂肪肝	
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

## 肝硬度検査結果

検査結果 (kPa)	肝硬変 所見	検査 頻度
10未満	正常	2年
10~15	軽度	1年
15以上	重度	6か月

## 肝脂肪蓄積量検査結果

検査結果 (dB/m)	所見
200	正常
220~250	軽度
250~300	中度
300以上	重度

検査結果は  
目安だよ





# 山梨県からのお知らせ（C型肝炎治療終了者サポート事業の御案内）

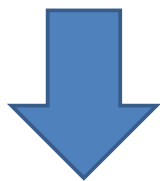
山梨県では、**治療によりC型肝炎ウイルスを排除できた県民の方**を対象に、**年間2回まで無料で肝臓の硬さなどのチェックを受けられる事業**を行っています。

ご興味のある方は、別添の説明書をお読みください。  
そのうえで、希望される方は、同封の申込書を返送してください。

## なぜ肝炎ウイルスがないのに 肝臓の健康チェックが必要なの？

C型肝炎ウイルスを除去すると、肝がんを発症するリスクは下がります。

しかし...発症リスクは「これまでに肝炎ウイルスに感染したことがなく、肥満や糖尿病などの肝疾患の要因がない方」と比べると、「かなり高い」とされています。



定期的に肝臓の状態を調べ、検査結果に応じて精密検査の受検、治療、生活習慣（食べ物・運動）の改善などを行う必要があります。

## どんな事業なの？

① 最新の検査機器を使い、肝臓の硬さ（肝硬変への進行度）と脂肪蓄積量を調べます。

※ 山梨大学医学部附属病院肝疾患センターにおいて  
年2回まで無料で検査を受けられます。

※ 相談は何回でも受けられます。

② 検査結果に応じて、医師や看護師、肝疾患コーディネーター<sup>\*</sup>が医療機関の受診や生活習慣の改善のための指導・助言を行います。

※ 肝疾患に関する専門の知識を有する  
医療従事者や行政職員



かかりつけの医師・医療機関の指導のもと、  
**肝疾患や肝がんの予防につなげます**

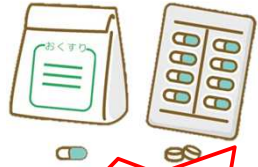


# 「ウイルス性肝炎治療終了者サポート事業」について

肝炎ウイルス排除者数

非ウイルス性肝炎患者数

重症化予防必要性

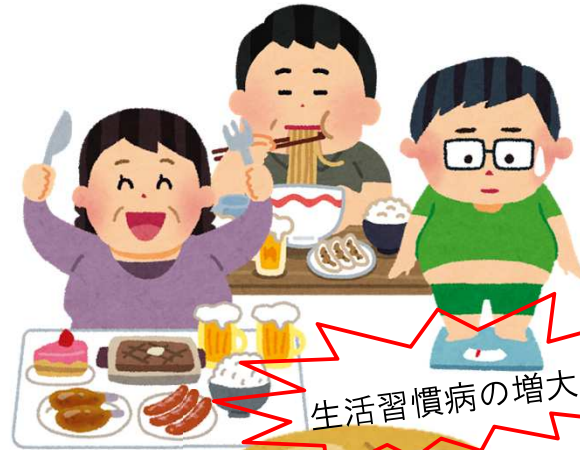
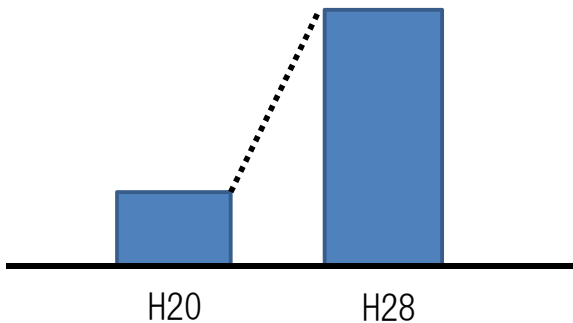


画期的新薬の登場

肝炎ウイルス駆除

完治者の続出

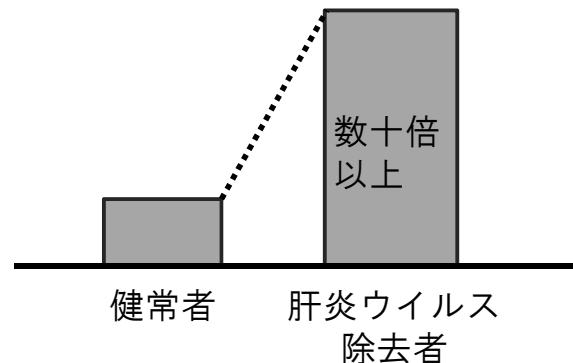
C型肝炎ウイルス排除者数  
(C型肝炎治療終了者)



生活習慣病の増大

非ウイルス性肝炎  
患者増加のおそれ

健常者と肝炎ウイルス  
除去者の肝がん罹患率



山梨大学医学部附属病院  
肝疾患相談支援センター



ウイルス除去者  
への相談、指導

肝臓硬度測定検査等



主治医の元で  
定期健診受診

死亡率の  
改善



# 治療と仕事の両立支援を応援します

～つづけたいを支えたい～

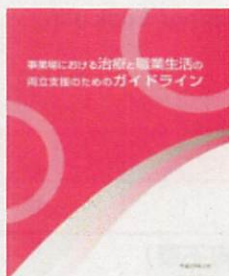
山梨県地域両立支援推進チームにおける山梨県長期療養労働者支援担当専門家会議

## 治療と仕事の両立支援のために

反復継続して治療が必要となる病気にかかった労働者が治療をしながら仕事を続けることを支援します



現在は、がんなどの長期療養が必要な病気にかかっても、働き続けることができるようになってきています。全国の統計でも、仕事をもちながらがんで通院している方の数は32.5万人に上っているという結果が出ており、がんなどの病気は「不治の病」ではなく、「長くつきあう病気」に変化しつつあるということができます。



厚生労働省では、平成28年2月に「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を作成し、治療をしながら仕事を続けることができるよう、支援を行うこととしました。

山梨労働局では、医療関係者や地域の有識者に参加していただき、専門家会議を設置し、治療と仕事の両立支援を促進するための施策の検討や広報を行うこととしています。

ガイドラインの電子データは、  
<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/>  
でも御覧いただくことができます。

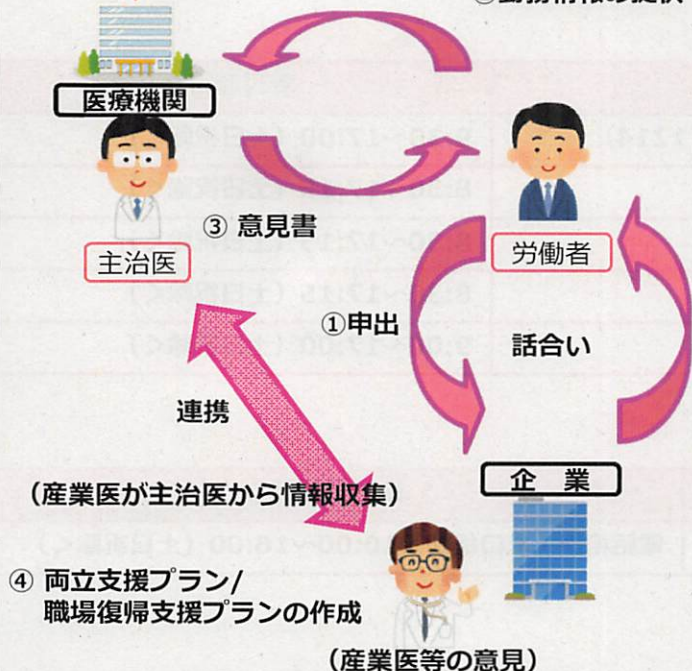
病気にかかったら、あなたから  
事業場へ申し出ましょう



## 治療と仕事の両立のためのガイドライン

両立支援の検討は、労働者からの申出から始まる

②勤務情報の提供



がん、肝疾患、脳・心臓疾患、糖尿病、慢性腎臓病、難治性疾患、不妊など、継続して治療が必要な病気にかかった労働者が、治療を続けながら仕事を続ける、治療と仕事の両立を行うためには、まず、労働者本人の、仕事を継続したいという意思が大切で、さらに、それを企業に伝える必要があります。

両立支援はここから始まります。そして「ガイドライン」により左の図のとおり、労働者と企業、労働者と医療機関が連携しながら支援を進めていくことになります。

専門家会議が実施した事業者へのアンケートでは、「がん、肝疾患、脳・心臓疾患、糖尿病、慢性腎臓病、難治性疾患、不妊の治療を受けている労働者が仕事を続けることは可能だと思いますか」とたずねたところ、半数以上の事業場で、「適切な治療により職場復帰することは可能であるから、治療を受けながら仕事を続けることは可能」と回答しています。山梨県の事業場では、がんなど長期療養が必要な病気に対する理解が深まっていると考えられます。

## 治療と仕事の両立のために

長期療養が必要である病気にかかった場合、皆さんには生活について考えること、治療を含めてやらなければならないことなど、たくさんあると思います。皆さんの力だけで、ガイドラインを実行することは、かなりの困難を伴います。

そこで、厚生労働省では、皆さんの支援を行う業務を独立行政法人労働者健康安全機構に委託しました。また、がんについては、山梨県やがん診療連携拠点病院等に相談支援のための相談窓口が設けられています。もし、がんなどの病気にかかったら、まず、裏面の相談機関に相談してみましょう。



まず相談してみよう



# 治療と仕事の両立支援に関する情報・相談

## 両立支援全般の相談

両立支援コーディネーター研修を受けた社会保険労務士や保健師等の専門スタッフ（両立支援促進員）が、「がん、肝疾患、脳・心臓疾患、糖尿病、慢性腎臓病、難治性疾患、不妊」の両立支援の相談等に無料で応じています。事業主、労働者どちらからの相談でも受け付けています。両立支援のための就業規則の変更などの環境整備についての相談もできます。

機関名	電話番号	受付時間等
独立行政法人労働者健康安全機構 山梨産業保健総合支援センター	055-220-7020	8:30～17:15（土日祝除く） 電話相談は9:00～17:00 窓口相談・個別訪問は予約制

## 山梨県がん患者サポートセンター

がん患者必携

<https://www.ych.pref.jp/images/ych/gaiyo/files/supportbook.pdf>

山梨県が委託して実施している「がんの患者の総合相談窓口」です。患者や家族の悩みや不安への相談に応じています。

相談員	電話番号	受付時間等
専門医	055-227-8740	面談：不定期（完全予約制）
保健師		電話相談：毎週火曜日 13:00～17:00（予約不要） 面談：毎週火曜日 13:00～17:00（要予約）
社会保険労務士		電話相談：毎月第3火曜日 13:00～16:00（予約不要） 面談：毎月第3火曜日 13:00～16:00（要予約）
ピアサポーター		相談：毎週火曜日 13:00～16:00

## がん相談支援センター

事業者のためのがん治療と仕事と治療の両立支援ガイドブック

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/documents/handbook.pdf>

がん専門相談員として研修を受けたスタッフが対応します。その病院に通院していなくても相談を受けることができます。

がん診療連携拠点病院等	電話番号	受付時間
山梨県立中央病院	055-253-7111（内線3912/1214）	9:30～17:00（土日祝除く）
山梨大学医学部附属病院	055-273-9872（直通）	8:30～17:15（土日祝除く）
市立甲府病院	055-244-1111（内線1182）	8:30～17:15（土日祝除く）
富士吉田市立病院	0555-22-4143（直通）	8:30～17:15（土日祝除く）
山梨厚生病院	0553-23-1311（内線2012）	9:00～17:00（土日祝除く）

## 肝疾患相談窓口

機関名	電話番号	受付時間等
山梨大学医学部附属病院	055-273-1111	電話相談・窓口相談：10:00～16:00（土日祝除く）

## 山梨県難病相談・支援センター

相談員	電話番号	受付時間等
相談・支援員	055-223-3241	電話相談・窓口相談：9:00～16:00（土日祝除く）

## 不妊（不育）相談センター・ルピナス

相談員	電話番号	受付時間等
保健師 専門医・心理カウンセラー	055-223-2210	電話相談：毎週水曜日15:00～19:00（祝日年末年始を除く） 面接相談：第2・第3水曜日（要予約）



# 治療と仕事の両立支援を応援します

～両立支援に関するアンケート結果から～

山梨県地域両立支援推進チームにおける山梨県長期療養労働者支援担当専門家会議

## 治療と仕事の両立支援のために

反復継続して治療が必要となる病気にかかった労働者が治療をしながら仕事を続けることを支援します



現在は、がんなどの長期療養が必要な病気にかかっても、働き続けることができるようになってきています。全国の統計でも、仕事をもちながらがんで通院している方の数は32.5万人に上っているという結果が出ており、がんなどの病気は「不治の病」ではなく、「長くつきあう病気」に変化しつつあるということが出来ます。



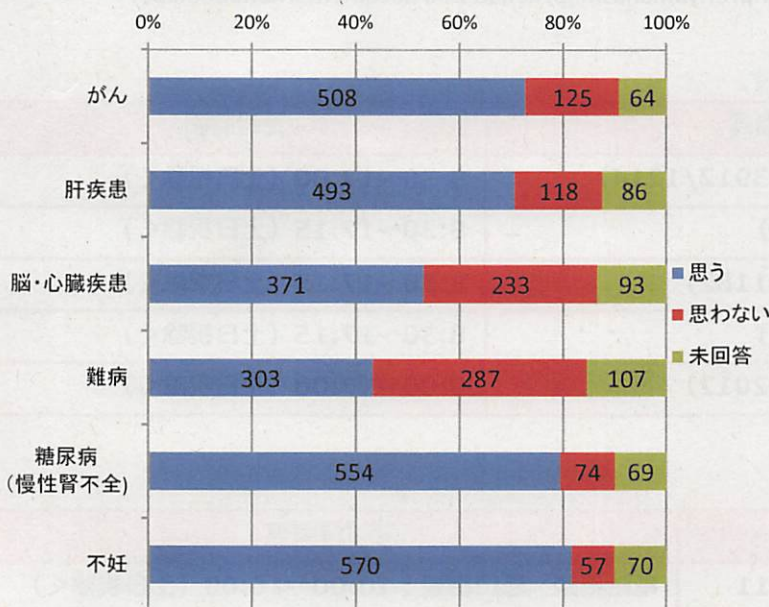
厚生労働省では、平成28年2月に「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を作成し、治療をしながら仕事を続けることができるよう、支援を行うこととしました。

山梨労働局では、医療関係者や地域の有識者に参加していただき専門家会議を設置し、平成30年に治療と仕事の両立支援に関するアンケートを実施したところ、次のことが明らかになりました。

ガイドラインの電子データは、  
<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/>  
でも御覧いただくことができます。

## 治療と仕事の両立について考えていること

これらの病気にかかって、治療を受けている労働者が仕事を続けることは可能だと思いますか（複数回答）



## 山梨県の事業者の皆さんの両立支援に対する意識は高い



左のアンケートにみられるとおり、多くの病気について「治療を受けながら仕事を続けることは可能」と半数以上の事業場が回答しています。

その理由としては、「適切な治療により職場復帰することは可能であるから」、「健康診断等を実施することにより、早期に病気を発見し治療期間を短くすることができるから」と回答しており、がんなど、長期療養が必要な病気に対する理解が深まっていると考えられます。

また、左に掲げた病気により長期療養が必要な従業員の治療と職業生活の両立が実現できる職場づくりの必要性について、85.5%の事業場が「必要」又は「どちらかといえば必要」と回答しており、「今後、専門家の支援で両立支援に取り組んでみたいと思う」あるいは「相談の上検討したい」と回答した事業場も67.6%ありました。

## 治療と仕事の両立のために求められていること



いろいろな情報が必要だ

両立支援を進めるためには、「治療の内容、仕事にどの程度影響があるか分からない」ことが課題であると回答した事業場が多くあり、また、「就業場所の配慮」、「治療法など基本的な情報」、「会社が相談できる窓口」、「従業員と受診医療機関との連携方法」などの情報が両立支援のために必要であるという回答が多くありました。

実際に労働者が、がんなど長期療養が必要な病気にかかって休んでいる事業場に対して、どのように苦慮しているかをたずねたところ、「治療の見通しが分からないこと」、「就業制限の必要性や就業期間の判断が難しい」、「復職許可の判断が難しい」などの回答があり、これらの支援が求められていることが明らかになりました。



# 治療と仕事の両立支援に関する情報・相談

## 両立支援全般の相談

両立支援コーディネータの研修を受けた専門スタッフが、「がん、肝疾患、脳・心臓疾患、糖尿病、慢性腎臓病、難治性疾患、不妊」の両立支援の相談に応じています。

事業者、労働者どちらからの相談でも受け付けています。

両立支援のための就業規則の変更などの環境整備についての相談もできます。

機関名	電話番号	受付時間等
独立行政法人労働者健康安全機構 山梨産業保健総合支援センター	055-220-7020	8:30~17:15（土日祝除く） 電話相談は9:00~17:00 窓口相談・個別訪問は予約制

## 山梨県がん患者サポートセンター

がん患者必携

<https://www.ych.pref.jp/images/ych/gaiyo/files/supportbook.pdf>

山梨県が委託して実施している「がんの患者の総合相談窓口」です。

患者や家族の悩みや不安への相談に応じています。

相談員	電話番号	受付時間等
専門医	055-227-8740	面談：不定期（完全予約制）
保健師		電話相談：毎週火曜日 13:00~17:00（予約不要） 面談：毎週火曜日 13:00~17:00（要予約）
社会保険労務士		電話相談：毎月第3火曜日 13:00~16:00（予約不要） 面談：毎月第3火曜日 13:00~16:00（要予約）
ピアサポーター		相談：毎週火曜日 13:00~16:00

## がん相談支援センター

事業者のためのがん治療と仕事と治療の両立支援ガイドブック

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenko-zsn/documents/handbook.pdf>

がん専門相談員として研修を受けたスタッフが対応します。

その病院に通院していなくても相談を受けることができます。

がん診療連携拠点病院等	電話番号	受付時間
山梨県立中央病院	055-253-7111（内線3912/1214）	9:30~17:00（土日祝除く）
山梨大学医学部附属病院	055-273-9872（直通）	8:30~17:15（土日祝除く）
市立甲府病院	055-244-1111（内線1182）	8:30~17:15（土日祝除く）
富士吉田市立病院	0555-22-4143（直通）	8:30~17:15（土日祝除く）
山梨厚生病院	0553-23-1311（内線2012）	9:00~17:00（土日祝除く）

## 肝疾患相談窓口

機関名	電話番号	受付時間等
山梨大学医学部附属病院	055-273-1111	電話相談・窓口相談：10:00~16:00（土日祝除く）

## 山梨県難病相談・支援センター

相談員	電話番号	受付時間等
相談・支援員	055-223-3241	電話相談・窓口相談：9:00~16:00（土日祝除く）

## 不妊（不育）相談センター・ルピナス

相談員	電話番号	受付時間等
保健師 専門医・心理カウンセラー	055-223-2210	電話相談：毎週水曜日15:00~19:00（祝日年末年始を除く） 面接相談：第2・第3水曜日（要予約）